

# 第2学年 総合的な学習の時間 Life 学習指導案

日 時 平成17年9月27日(火) 5校時

学 級 2年5組(男子18名女子19名計37名)

場 所 2年5組 教室

授業者 白 銀 一 美

## 1 単元名 身近な人を知る

## 2 単元について

### (1) 教材観

本校での総合的な学習の時間のねらいは、「社会に通用する生徒の育成」である。

2年生では、地域の人々とのかかわりを持つことによって、自己の生き方を考えることをテーマにして学習を進めている。「身近な人を知る」調査活動・「仕事・職業を知る」体験活動を通して、自己の将来を見つめ、生きること・働くことを学ぶことによって、さまざまな人の考えや物の見方に触れ、多様な価値観を知り、情報収集力や自己表現力が身につくこと、2学年のめざす「自分を取り巻く地域の人々、環境に関心を持ち、積極的に係わり合いを持とうとする生徒」が育成できると考え設定した。

ここでは、身近にいる人生の達人にその人の生き方について調査し、それをポートフォリオにまとめ、発表することによって、自己を生かす生き方とはどのようなものか、よりよく生きるとはどのようなものか考えさせていきたい。

### (2) 生徒の実態

本学級の生徒は4月に進級しクラス替えがあり、はじめはぎこちない人間関係の中で生活していたが、体育祭や日常生活を通し学級に貢献しようとする意識が少しずつ出てきた。しかし、個人として、興味関心の高いものに対しては、意欲的に取り組むが、不得手なもの複雑なものに対しては、計画的に取り組んだり、根気強く取り組んだりすることが苦手である。

## 3 単元の目標

自己の将来を見つめ、身近にいる人生の達人の生き方について学び、自己を生かす生き方を考えさせる。

## 4 指導計画(別紙参照)

## 5 本時の計画

### (1) 目標

各班の発表や全体での質疑を通じて、人生の達人の生き方について学び、自己の生き方について、一人一人に考えさせる。

### (2) 指導の構想

1学期から「身近な人を知る」をテーマにオリエンテーションをし、夏休み中には、実際に調査活動を通して、その調べたものを凝縮ポトフォリオにまとめた。また、2学期の初めには、実際に社会で活躍している人々から講話をいただき、「生き方講座」を開講し、社会の中で生きていくことの意義や生きがいなどを学んだ。

今回の発表会では、各班の発表を聞きながら、自分のまとめたものと重ね合わせながら、さらに自分の考えを深めることを目標としている。発表会では、学級執行部が、中心となって、企画・進行する形をとる。

### (3) 評価の観点

各班の発表を聞くことにより、自己の生き方について考えることができたか。

(4) 展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意事項	評価の観点・方法
導入 5分	1 本時の活動内容の確認	開会の言葉 学級委員長から ・各班の発表と意見交流を通して、自己の生き方についての考えを深めていくことを確認する。	・学級執行部が会を進行する。  ・学級委員長が本時の目標や活動内容について説明する。	
学習課題 学級セレクションを通して、お互い学び合い、自己の生き方について考えを深めよう。				
展開 40分	2 代表グループの発表、質疑  3 意見交流  4 感想記入	発表・質疑 ・班毎に選抜した凝縮ポ・トフォリオの内容や考察を発表する。 ・発表を聞いて、自分なりの意見や感想をまとめ、質問や意見を発表する。  意見交流 ・発表やそれに対する質疑応答を聞いて、よりよい生き方について考える。  感想記入 ・お互いの意見を聞きあって考えたことや感想を記入する。	・新たに感じたことや疑問に感じたことなど、メモを取りながら、発表を聞くように指導する。  ・感想などのメモを参考にしながら、自分が何をすべきかを発表するよう指導する。	・他の人の発表をよく理解し自分の考えをまとめることができる。 (シ・トの記入)
終結 5分	5 本時のまとめ	講評 ・先生の講評を聞いて、自分たちの発表会について振り返る。 閉会の言葉	・発表の内容、仕方にふれ、さらによりよい生き方について職場体験を通して考えていくことを述べる。	